

自主シンポジウム 第61回大会 2008

- 自1. 子どもの発達と園環境における身近な自然に親しむ保育を考える
ーその意義とこれからの保育が目指すべき方向とは
- 自2. 特別支援教育が、保育にもたらすものは何か？ ー現場の視点から問い直す
- 自3. 保育評価への多様なアプローチ ー異なる評価方法間の対応
- 自4. 少子化対策の見直しと、保育制度「改革」
- 自5. 保育の質を豊にするために実体験の意味を考える 飼育・栽培の事例を通して
- 自6. 保育者養成において学生に「表現」をどのように指導するか(4)
ーなぜ、なんのために、どう歌うのか
- 自7. 子どもの内なる「自然」をとりもどそう！
- 自8. 日々を生きるからだコミュニケーション(2)
ーからだを通じた受容感を味わうために
- 自9. 保育におけるネイチャーゲームの意義と役割
- 自10. 子どもと生きる力を育む関係づくり
- 自11. 「保育の質」と評価を考える
- 自12. 保育におけるぬり絵の意義を問い直す
- 自13. からだ・表現・かかわりⅡ ーみんなが輝き、響きあう実践を目指して
- 自14. 保育園環境を食と排泄から考える
- 自15. 乳児保育における保育室の環境構成の原理をめぐって(1)
- 自16. 「保育者研修」で養成校は何ができるのか！ ー現場との協力関係を築くために
- 自17. 研究と実践を結ぶ保育者養成
- 自18. 世代間交流の日常化をめざして
- 自19. 幼児期の環境保育を考える ー自然・食・生活の観点から
- 自20. 子どもの「遊び」に対する援助とは何か